

年 組 名前：

問1

この企画のねらいは、
どのようなことですか。

.....

.....

.....

.....

.....

問2

記事の企画に参加した
「夜叉神峠」について、販売
している3種類のグッズを
書いてください。

①

②

③

問3

企画には「夜叉神峠」以外に県内から4カ所が参加しています。
その場所はどこですか。

①

②

③

④

日本の峠 紹介プロジェクト



「夜叉神峠」のステッカーを手にする名取大介さん
＝南アルプス・なとり屋

「夜叉神峠」のステッカーを購入して、観光や地域のグ
ルメを楽しんでもらい、地域
おこしにつなげようと埼玉県
のデザイナー 野口浩之さん
(49)が運営している。各地を
回り、収集するファンもいる。
ネットや通信販売など郵送
による販売は行わず、現地に
行かなければ買うことができ
ない。サイズやデザインは統
一されていて、これまで福島
から兵庫までの57カ所が参加
している。県内は夜叉神峠の
ほかに「大菩薩ライン」柳沢
峠「運志みち」鶴峠がある。
「夜叉神峠」については、
名取さんが利用者からプロジ
ェクトについて知り、運営者
に連絡して販売が決まった。

「夜叉神峠」ステッカーに

県内5カ所目、南アで販売

南アルプス市芦安倉倉の民宿「なとり屋」(名取大介店主)は、
ドライブして楽しめる県内各地の峠などをステッカーで紹介する
「ジャパン峠プロジェクト」の「夜叉神峠」版を販売している。
県内では5カ所目。発売日の10日は開店前から多くのファンが結
めかけ、ステッカーを買い求めた。

と周辺道路のルートが描かれ
ている。
発売日の10日は、午前11時
半の開店前から多くのファン
が詰めかけた。埼玉県毛呂山
町の小川滋さん(71)は朝5時
ごろから駐車場で発売を待つ
たという。「いろいろな峠を回
れるし、人とのふれあいが楽
しい」とステッカー収集の魅
力を話した。
名取さんは「夜叉神峠に来
る途中で地域を見てもらい、
夜叉神峠がある地域のファン
になってもらいたい」と話し
ている。

(2020年9月26日付 山梨日日新聞 25面)

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2020 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.